

ウェブサイト  
アイ・エイティーン・エヌ

# Website I18N のご紹介

オープンソース CMS Joomla! による  
ウェブサイト国際化サービス

ウェブサイト国際化セミナー資料

2009年4月17日

国際化JP株式会社

# 目次

---

## はじめに

### 1. ウェブサイト国際化の状況

- ウェブサイト国際化の必要性
- 国際化ウェブサイトの問題点
- 国際化ウェブサイトの特質

### 2. Website I18N のご紹介

- ウェブサイト国際化サービス Website I18N
- CMS とは
- Joomla! とは
- ソフトウェア国際化の経験と実績
- サービスメニュー
- サービスフロー
- 詳細情報

### 3. 事例紹介

- 国際化JPウェブサイト <http://www.kokusaika.jp/>

# はじめに

---

- グローバル化された現代社会において、ウェブサイトの国際化はもはや欠かすことができません。
- しかし、単なるコンテンツの翻訳だけではウェブサイトの国際化はうまくいきません。
- 国際化JPはオープンソースCMS Joomla! を用いたウェブサイト国際化サービス [Website I18N\\*](#)によって、効率的・効果的なウェブサイト国際化を実現します。

\* : 「ウェブサイト アイ・エイティーン・エヌ」と読みます。

# I18Nとは

---

- Internationalization のこと (= 国際化)
- 最初の”I”と最後の”n”の間に18文字ある
- 略して I18N と書く
- アイ・エイティーン・エヌと読む

参考: 同様の略記に次のものがある

- L10N = Localization (各国語対応)
- M17N = Multilingualization (多言語対応)

# 1. ウェブサイト国際化の状況

# ウェブサイト国際化の必要性

---

たとえば、

- 海外進出（企業など）
  - 現地語のウェブサイトが必要
- サービス向上（地方自治体や公共機関など）
  - 増加する日本語を母国語としない住民へのサービス
- グローバルな活動（政府機関、NGOなど）
  - 世界への情報発信（英語 + 現地語）

いくつか国際化ウェブサイトを見てみます...

# 国際化ウェブサイトの問題点

---

...こんな問題が見つかりました。

【問題1】メイン言語以外のページが一部しか翻訳されていない

【問題2】メイン言語以外のページの情報量が少ない

【問題3】メイン言語以外のページの情報古い

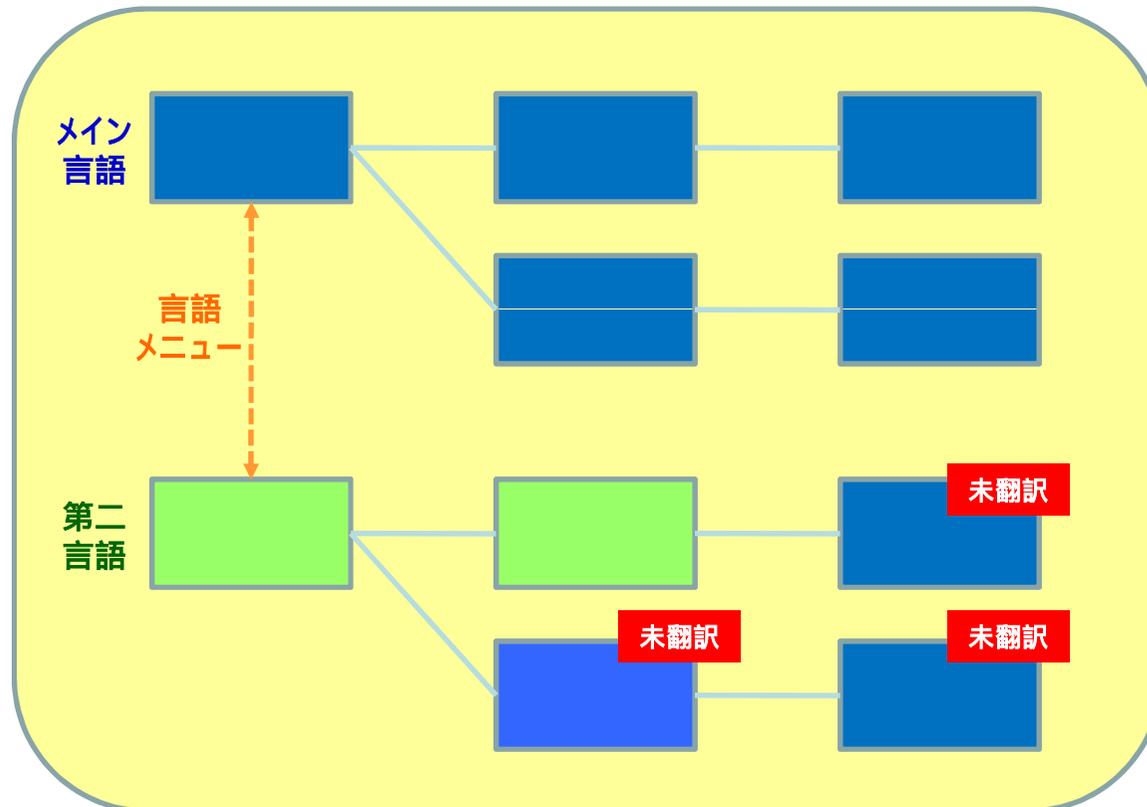
【問題4】言語メニューがトップページにしかない

【問題5】言語メニューを選択するとトップページに移動してしまう

ページ内容が言語ごとに異なるケースもありますが、同じ内容にできるのが基本と考えます。

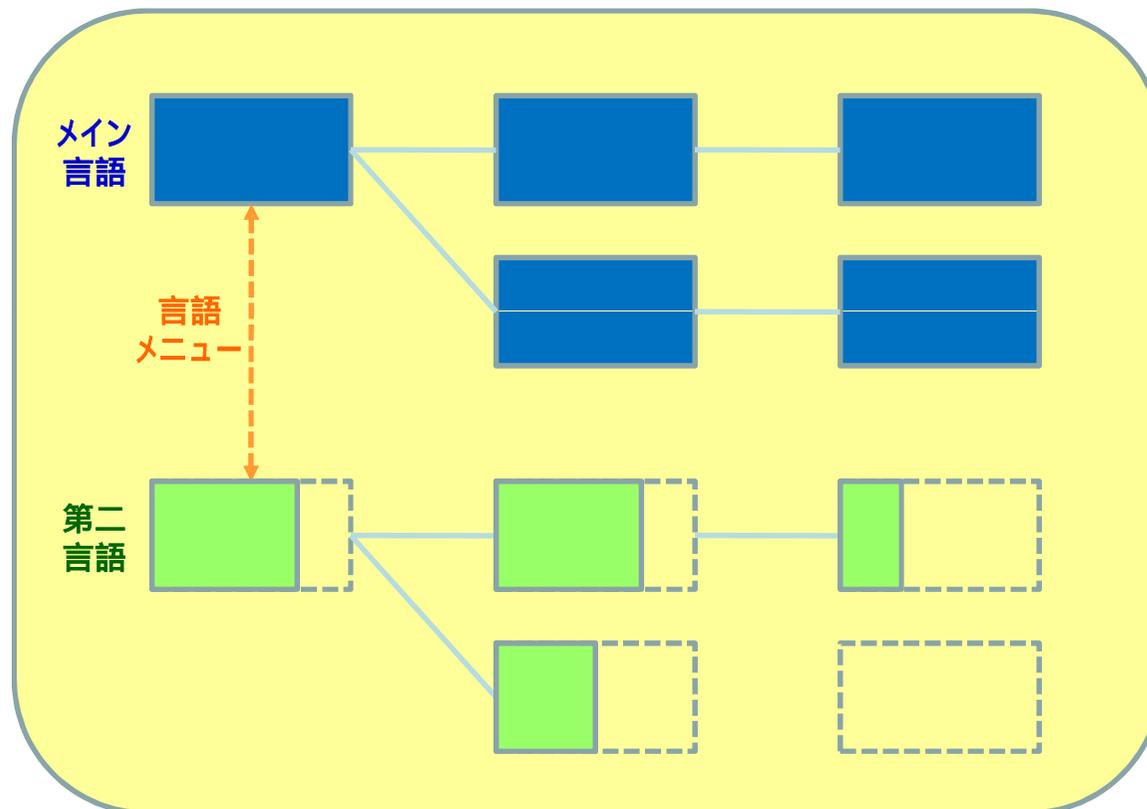
# 国際化ウェブサイトの問題点

【問題1】メイン言語以外のページが一部しか翻訳されていない



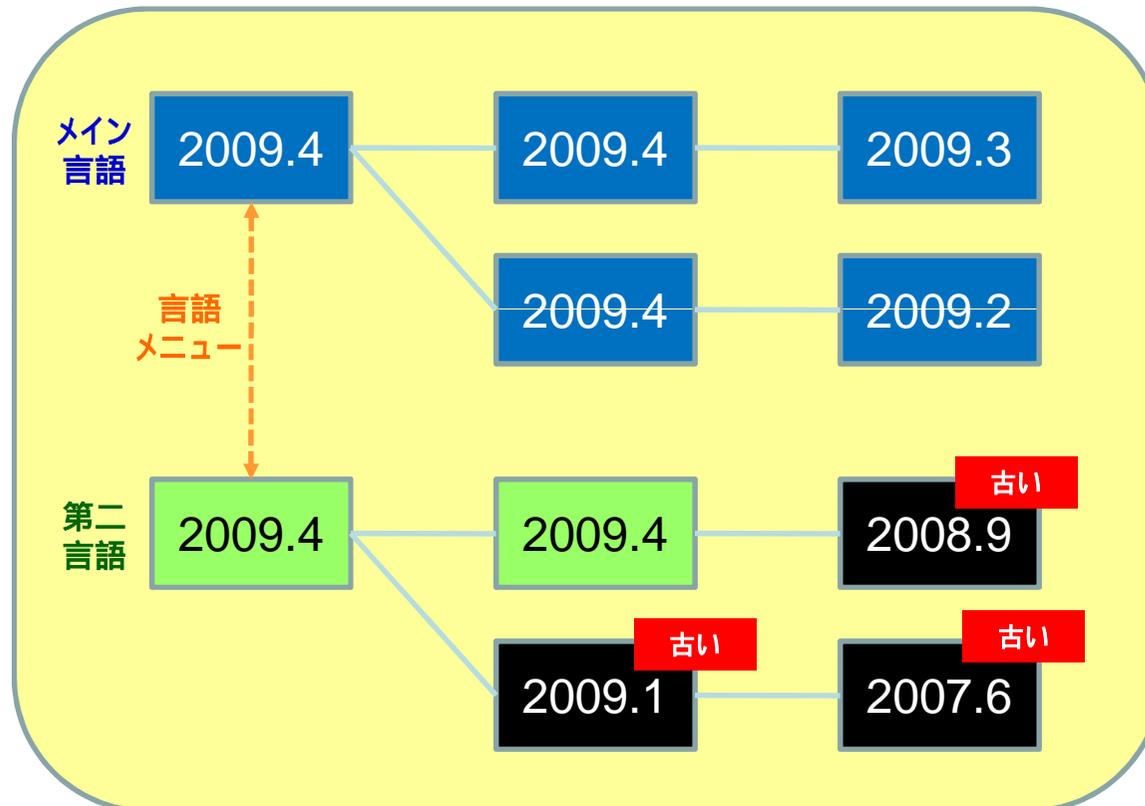
# 国際化ウェブサイトの問題点

【問題2】メイン言語以外のページの情報が少ない



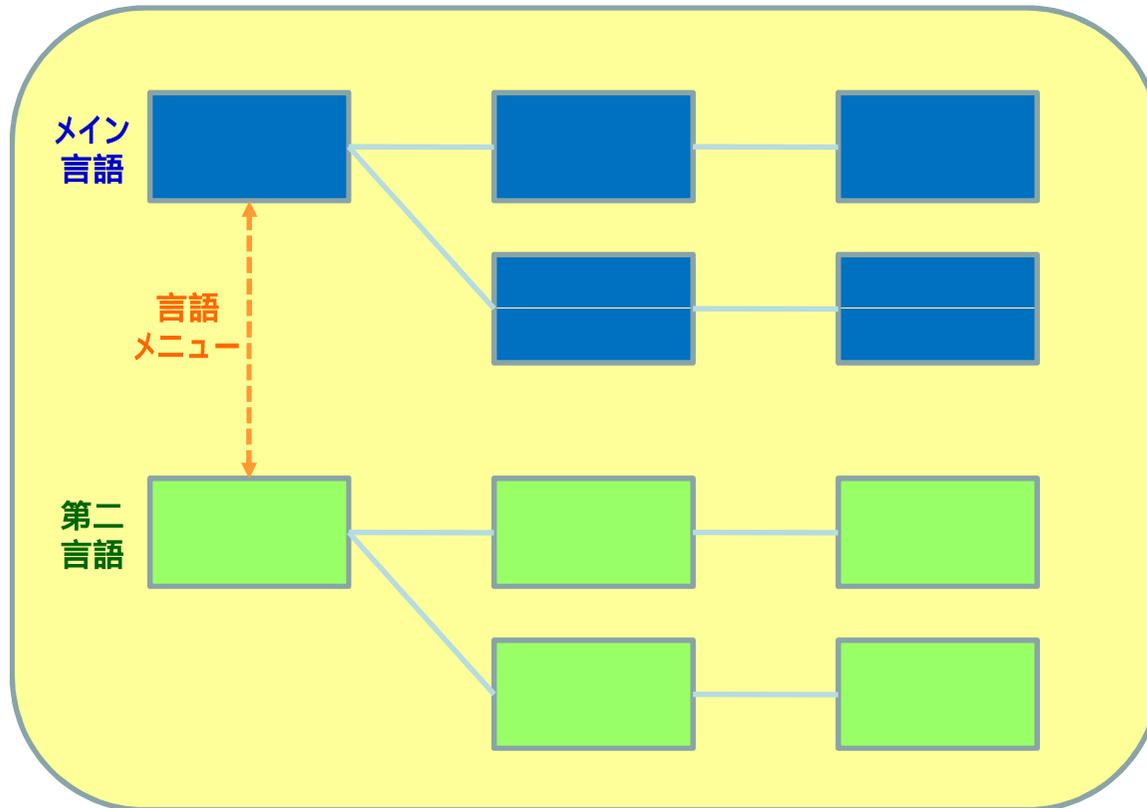
# 国際化ウェブサイトの問題点

## 【問題3】メイン言語以外のページの情報古い



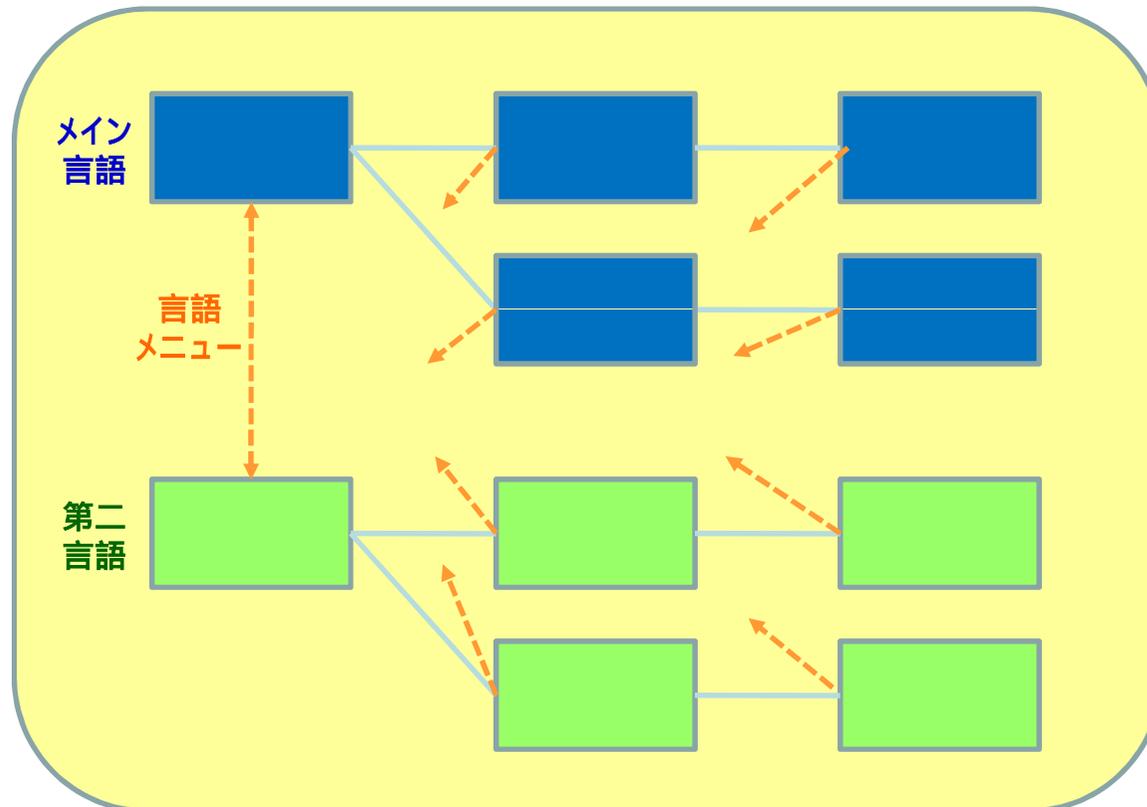
# 国際化ウェブサイトの問題点

## 【問題4】言語メニューがトップページにしかない



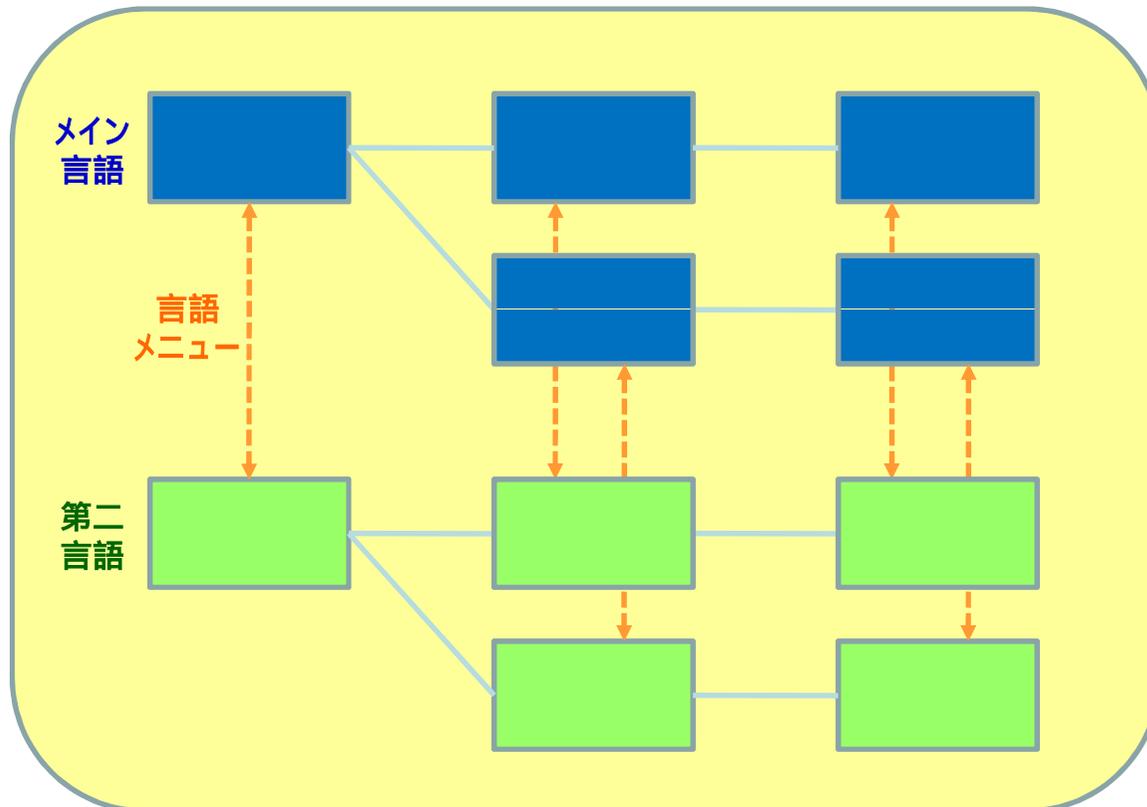
# 国際化ウェブサイトの問題点

【問題5】言語メニューを選択するとトップページに移動してしまう



# 国際化ウェブサイトの問題点

あるべき姿は次のとおり。

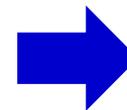


# 国際化ウェブサイトの特徴

話を戻します。そもそも、国際化ウェブサイトでは、

- 翻訳が必要になる
  - 継続的な翻訳
  - 機械翻訳では精度が不十分
- ページ数が増える
  - 翻訳ページもひとつのページである
  - 言語数に比例して増える
- 言語メニューが必要になる
  - 同じコンテンツの各言語ページ間のリンクが必要
  - 検索エンジン全盛の現在、言語メニューは各ページに必須
    - サイト訪問者は必ずしもトップページから入ってこない

したがって運用管理などのコストがかさみます。  
うまくやらないと「問題サイト」におちいってしまいます。



効率的な仕組みが  
必要です。

## 2 . Website I18N のご紹介

# 国際化JPの回答: Website I18N

---

- 国際化JPは、翻訳・ページ増・言語メニューに対応した、ウェブサイト国際化の効率的、効果的な仕組みをご提供します。
- それがオープンソース CMS Joomla! によるウェブサイト国際化サービス Website I18N\* です。
- 長年にわたるソフトウェア国際化の経験を生かしたサービスです。

\* : 「ウェブサイト アイ・エイティーン・エヌ」と読みます。

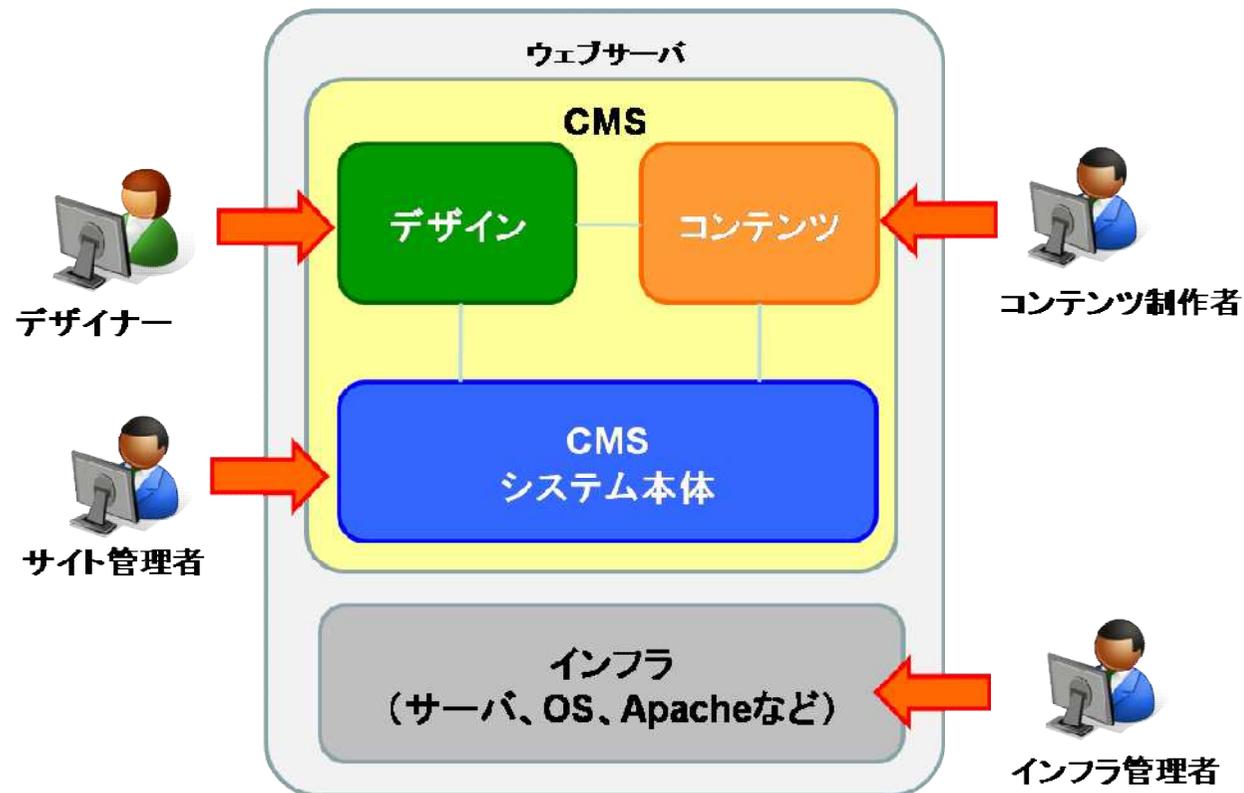
# CMSとは

---

- (Web) Contents Management System のこと
  - ウェブコンテンツを効率的、効果的に管理する枠組
  - ブログシステムやSNSシステムもCMSに属する
- コンテンツとデザインをシステムから切り離して管理する
  - コンテンツ作成者、デザイナー、サイト管理者間の分業を可能にし、管理の効率化を実現
  - サイトデザインの一括管理や変更が容易
- ページが増えるほど CMS 導入の効果は大きくなる

# デザインとコンテンツの分離

- デザイナー、コンテンツ作成者、サイト管理者間の分業を可能にし、運用管理の効率化を実現
- サイトデザインの一括管理や変更が容易



# Joomla! とは

- オープンソース CMS
- 世界で最も多く使われている CMS のひとつ
  - 導入実績が多い
  - 日本でも注目度上昇中
- 機能が豊富
  - コア + エクステンション(サードパーティーによる機能拡張)
  - 実用レベルのエクステンションが多数
- 品質が高い
- 管理画面が使いやすい
- ライセンスが無料
  - 商用CMSのライセンスは数百万 ~ 一千万超
- 国際化に対応している

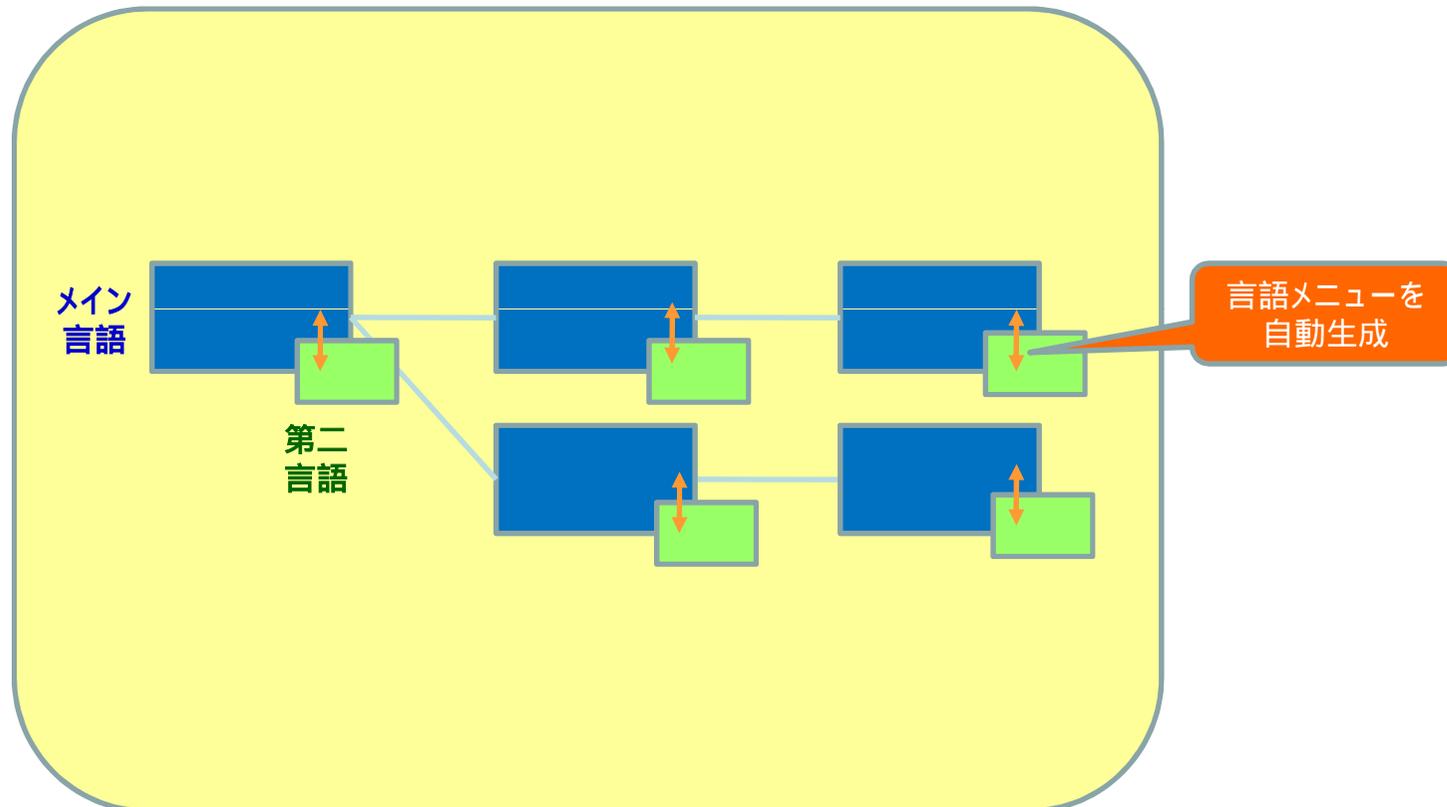


# Joomla! の国際化機能

- 50以上の言語に対応している
- 翻訳を効率的に管理する仕組みを備えている
  - 翻訳を属性として管理するのでページ数が増えない
  - 管理画面のWYSIWYGエディタ上で翻訳できる
  - 管理画面で翻訳のステータスが確認できる
    - 翻訳されているかどうか
    - 翻訳後にメイン言語のページが更新されたかどうか
  - デザイナー、コンテンツ作成者、サイト管理者に加え、翻訳者も分業が可能
- 言語メニューを自動生成する
- Joomla! 自身も国際化されている
  - インストーラ
  - 管理画面

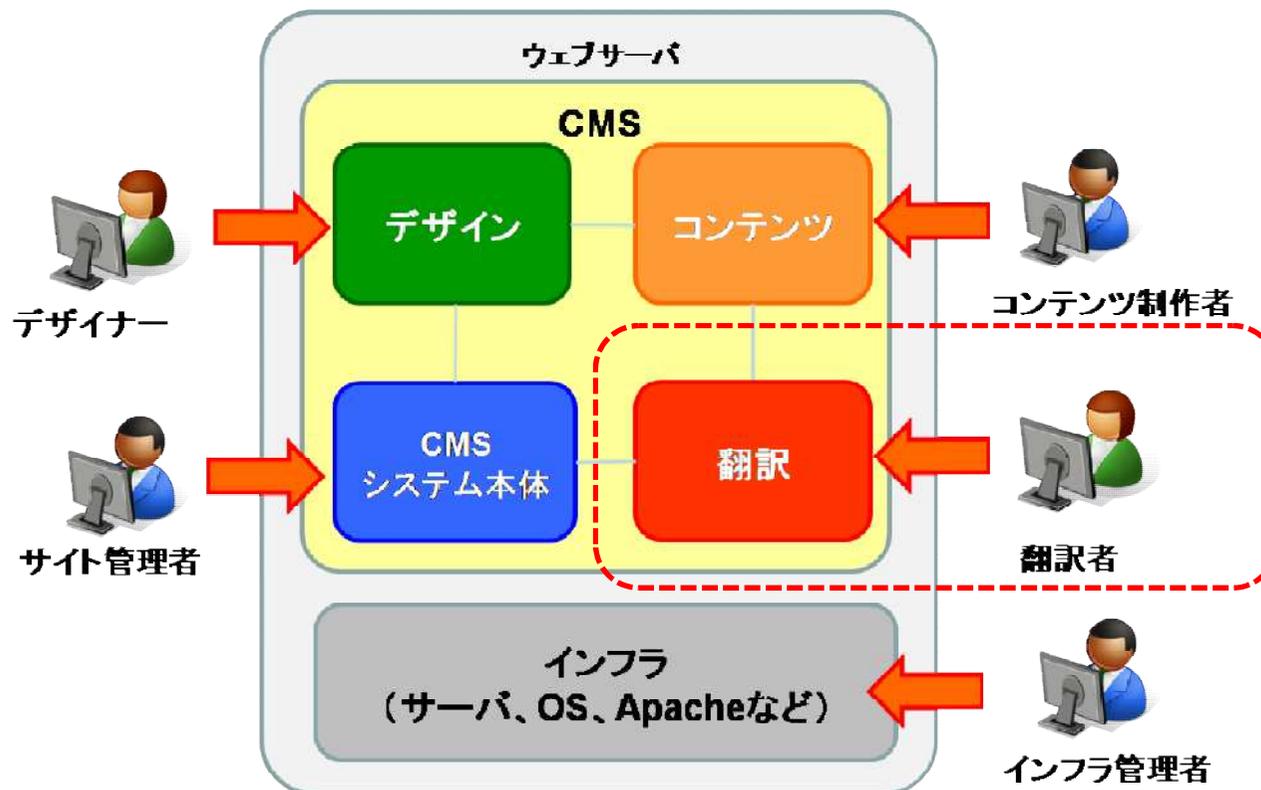
# 翻訳を属性として管理

したがってページもリンクも増えない。



# 翻訳者も分業が可能

- デザイナー、コンテンツ作成者、サイト管理者に加え、翻訳者も分業が可能



# ソフトウェア国際化の経験と実績

- 国際化JPのメンバーは、長年にわたってソフトウェア国際化に関する経験と実績を積んできました。
- Website I18N においてもその経験と実績を生かして、最適な国際化を実現していきます。
- なお、言語ごとにページの内容や構成を変えることも可能です。



x



= Website I18N

# サービスメニュー

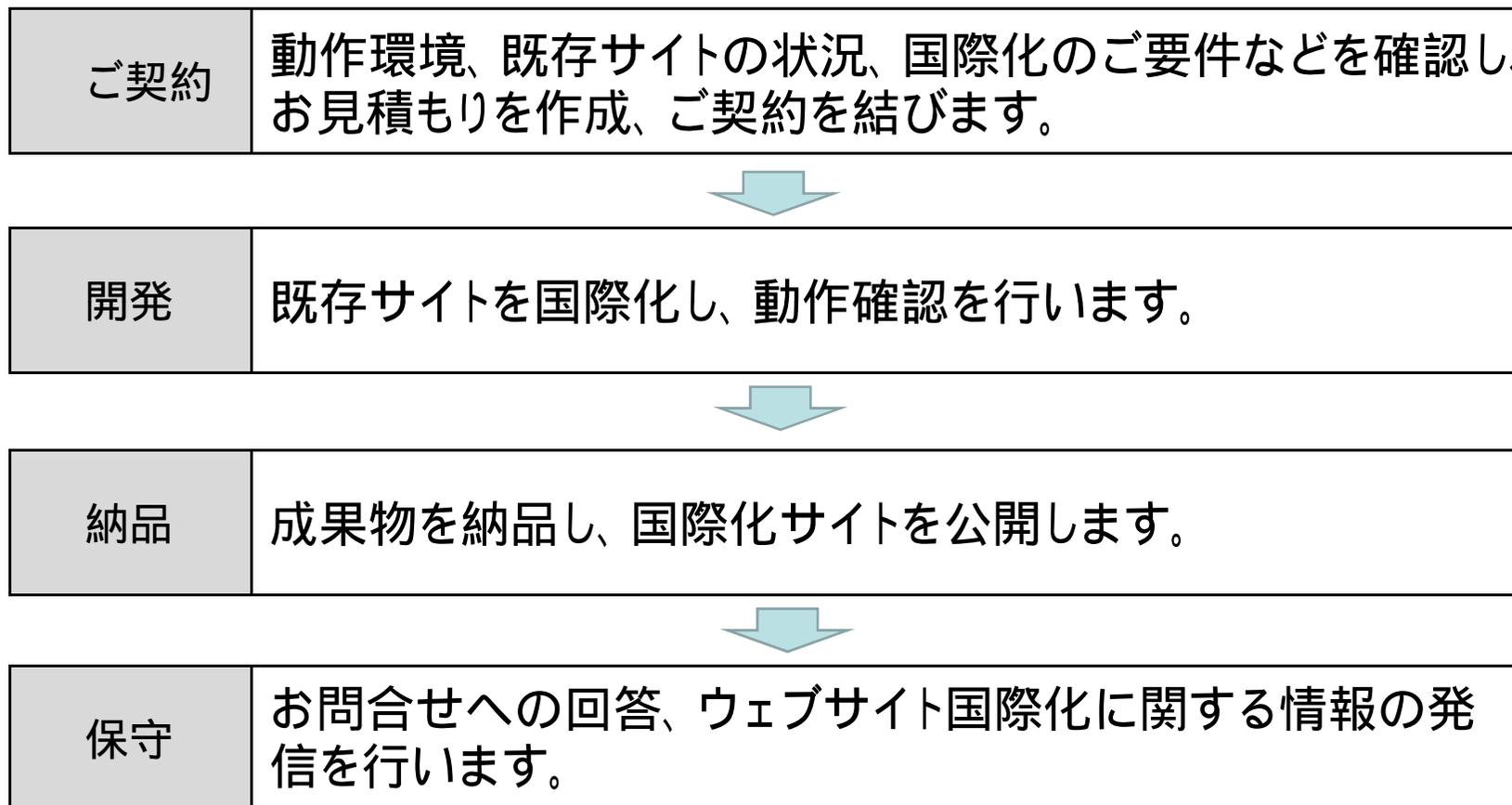
- Website I18N では、既存ウェブサイトのコンテンツとデザインはそのままに、Joomla!を導入して国際化、多言語対応の枠組みを構築することを基本とします。

基本パッケージ	オプション
Joomla! 導入 テンプレート作成 コンテンツ移行 国際化枠組み構築 言語設定	インフラ構築 デザイン変更 コンテンツ追加変更 翻訳 など

- 詳細につきましては弊社担当までお問合せください。

# サービスフロー

基本パッケージの場合のサービスフローは次のようになります。



# 詳細情報

---

- Website I18N サイト
  - <http://www.kokusaika.jp/service/web-i18n.html>
- サーバー要件
  - Linux RHEL4 相当以上
  - Apache HTTPD 1.3 以上
  - MySQL 3.23 以上
  - PHP 4.3.10 以上
- クライアント要件
  - Internet Explorer 6.0 以上
  - FireFox 2.0 以上
  - Opera 3.0 以上
- Joomla!
  - 最新バージョン 1.5.10 (2009/3/28 リリース)
  - URL : <http://www.joomla.org/>
  - URL : <http://www.joomla.jp/> (日本)

これ以外の環境については個別にご相談ください。

## 3 . 事例紹介

# 事例紹介：国際化JP

---

- URL
  - <http://www.kokusaika.jp/>
- Website I18N 導入前
  - 日本語と英語の2言語対応
  - 言語メニューはトップページにしかなかった
- Website I18N 導入後
  - 日本語、英語、韓国語、中国語の4言語対応
    - 中国語は学生インターンが管理画面のWYSIWYGエディタ上で翻訳
  - 言語メニューは各ページにある
    - 同じ内容の他言語ページへのリンク
  - サイト内検索、パンくず、サイトマップが追加された
    - Joomla! の機能

# 事例紹介: アクティブポイント社

---

- URL
  - <http://www.activep.com/>
- Website I18N 導入前
  - ホームページビルダーで作成
  - 言語は日本語のみ
- Website I18N 導入後 (現在導入作業中)
  - デザイン、コンテンツはそのまま、国際化対応を行う
    - 現在のページの「そっくりさん」
  - 言語は日本語と英語の2言語に対応

# 事例紹介：N社

---

- あるインターナショナルな会社(N社)に現在導入中。

Thank you.  
ありがとうございました。

連絡先:

国際化JP株式会社 Website I18N 担当

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-5 ベンチャーKANDA 407

MAIL: [kjp-sales@kokusaika.jp](mailto:kjp-sales@kokusaika.jp)

TEL: 03-5283-9925 FAX: 03-5283-9952